

きまぐれ魔王さま、

生真面目
魔法少女を
嫁にする。

きまぐれまおうさま きまじめまほうしょうじょを よめにする

R18

Adult only

夜な夜な人知れず魔物退治をするのがお仕事の魔法少女。

ある頃から、魔物退治をしていると
親玉である魔王が時折姿を見せるようになる。

そのたびに対抗しようとするものの
圧倒的な力を前に歯が立たず、逃げられてばかり。

「このままでは埒が明かない」と考えた魔法少女、
いっそのこと魔界に乗り込むことを計画。

強大な力を持ちながら、
いつも謎のセクハラ発言をしては
あっさり魔界へ帰っていく魔王。

「他の魔物と違って暴力性を見せないあの魔王なら、
話し合いで和解ができるかもしれない(変な人だし…)」

ついに魔界に繋がるゲートを発見し、
魔法少女は魔界に足を踏み入れる…

気まぐれ魔王さま、

生真面目
魔法少女を

きまぐれまおうさま きまじめまほうしょうじょを よめにする

嫁にする。

青色観測所/中原水芋

※本作品はR18です。18歳未満の方の閲覧はお断りいたします。



——ようやく本陣に
辿り着いたんです

大人しく
してください

雷竜の魔王……！



いつもながら
真面目だな

あまり余裕は
無いようだが

——次は
どうする？

俺としては
次は上の服を
希望するが

セクハラ
やめて
下さい！

あと今
風もやめて
下さい！

無理
言うな

お供
ニム

さすが…
ものすごい
力だ

魔王の
言う通り
上の服を
減らそう!!

頼
む

味方にも
敵がいる!!

衣装に使っている魔力を攻撃にまわすことで
着衣を減らすほど強くなる
魔法少女(残り2枚)

マジカリィコーラル

デフォルト

でも
でも
ナコちゃん
このままじゃ

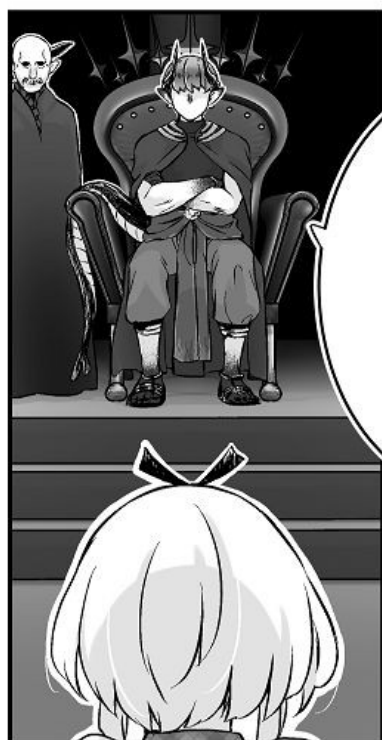
やっぱり魔王と
話し合いなんて
無理だったんだ…!

…っ
まだ何か
方法は…!!

脱ぐ
以外に!!

本名・ナコ





俺との
話し合いを
望むそうだが



—それで？



貴方は
すげべさん
ですけれど

そうか？

無意味な
破壊はしない
冷静で
理性的な人だと
思ってます

どうして…
人間界を
侵略するん
ですか？



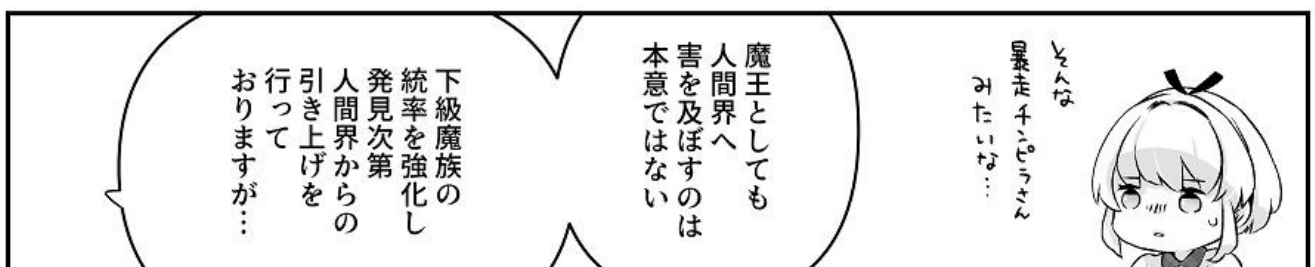
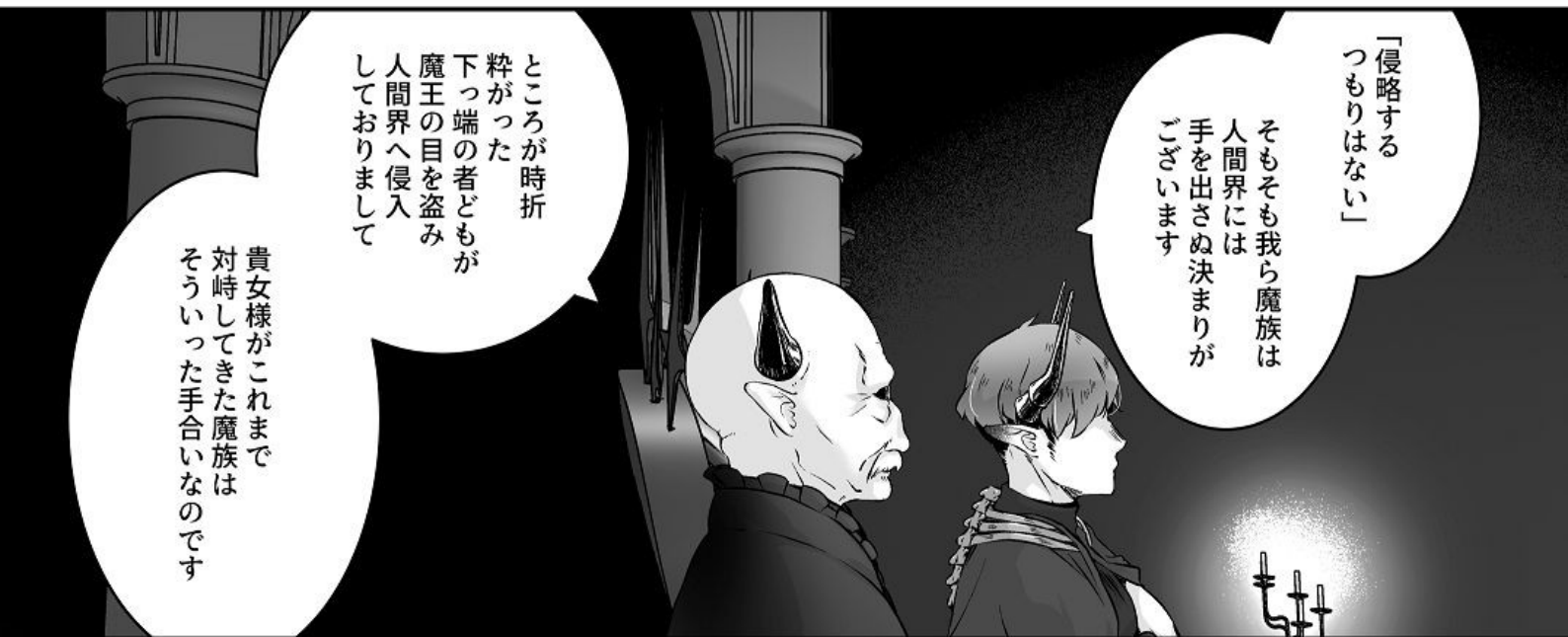
—俺は
侵略しようとは
考えていない

じゃあ
何故…！

侵略する気が
ないなら
私たちが戦う
必要もないのに

戦う必要は
ない…

そうか
なら







貴女様の魔法の力は
下級魔族への牽制にもなる

そうすれば
人間界への影響も
減らせましょう

如何ですか？

…とは言え
貴女様は
魔王の捕縛を試み
現在は囚われた身

こちらには
捕虜も
ございますから

！

話はもっと
簡単だ

俺はお前を
嫁にしたい

ただ
それだけの
事だ

脅して
どうする

まあ
そんな訳だが

べっち



……
ふたつ
要望があります



あの鳥の事は
案ずるな
元々危害を
加える気はない

鳥い
やい

人間界への
影響は……

直ぐには
難しいが
必ず対処する

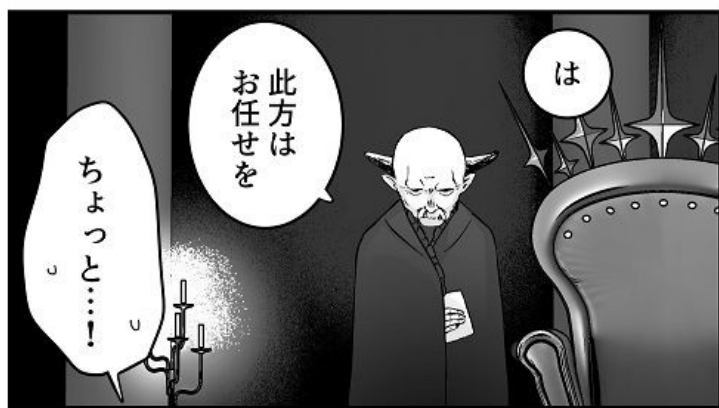
魔族による
人間界への影響を
なくすこと

それと
ニムの身の安全を
保証してください

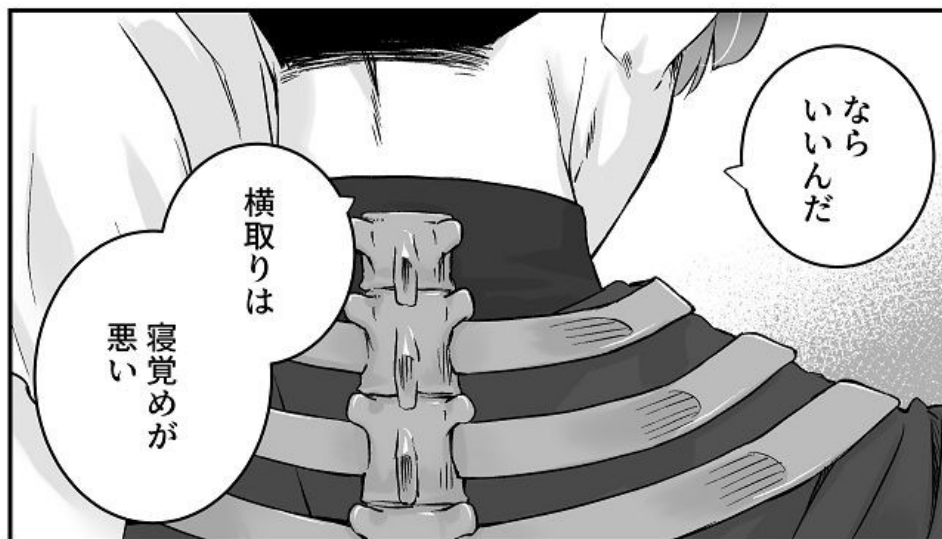


……
わかりました

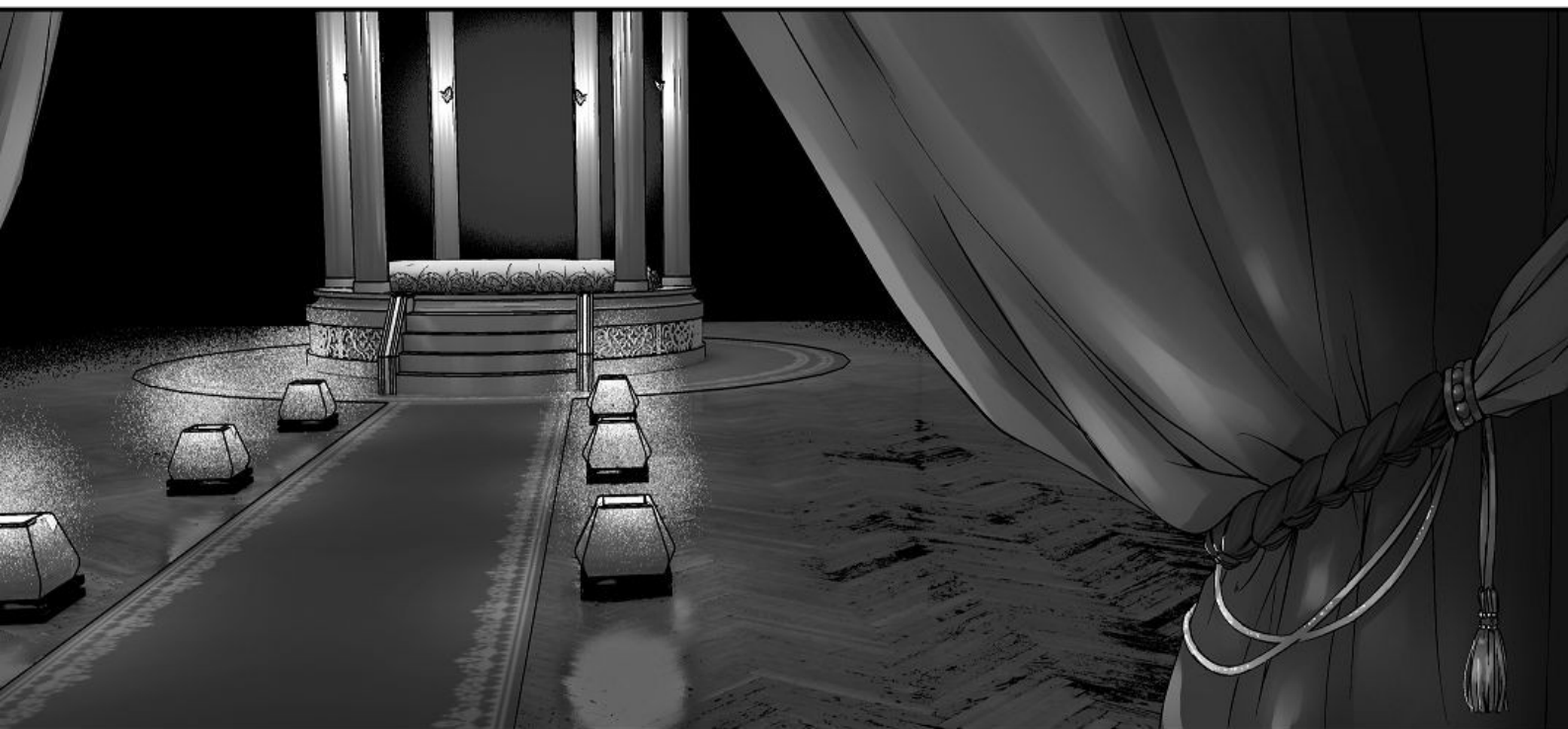


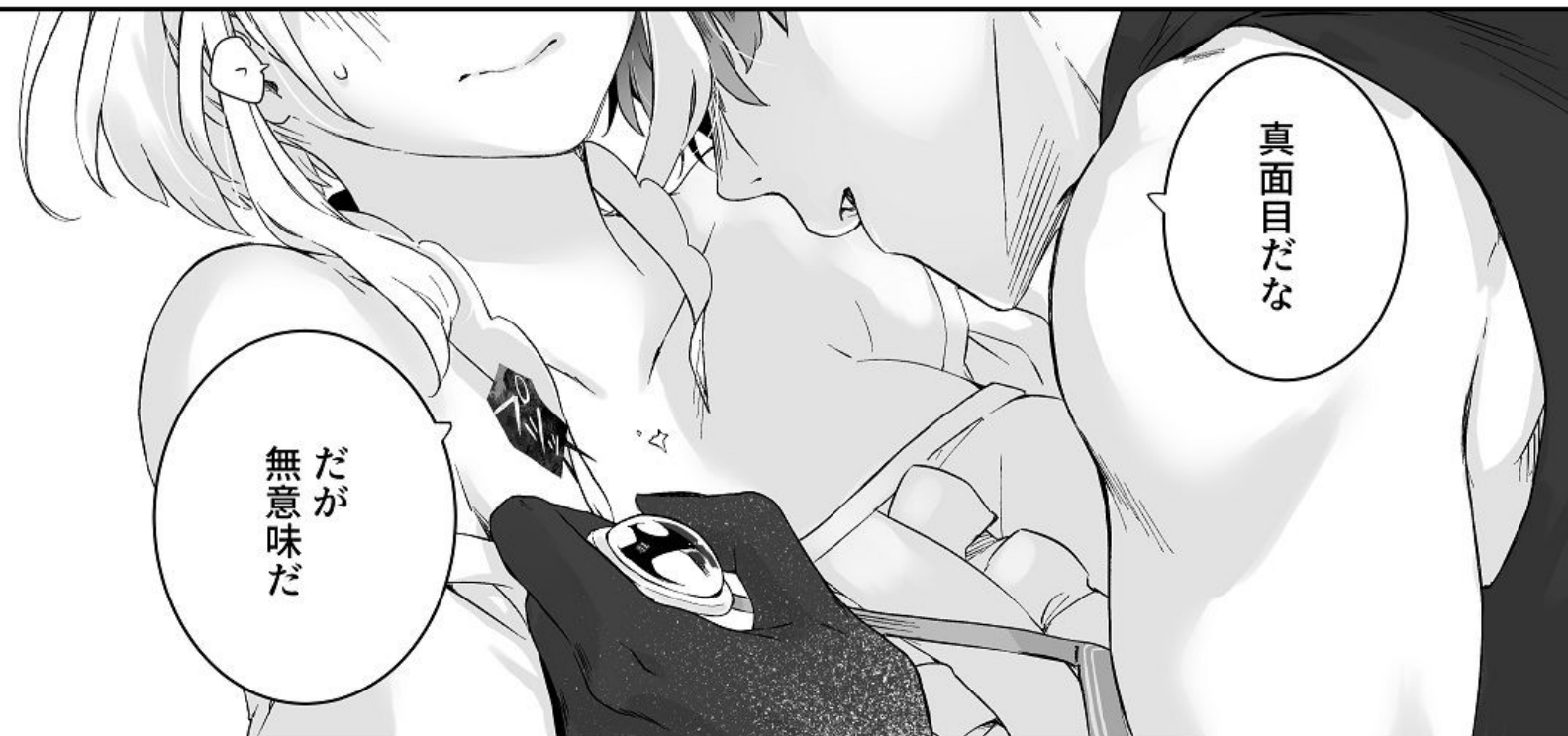






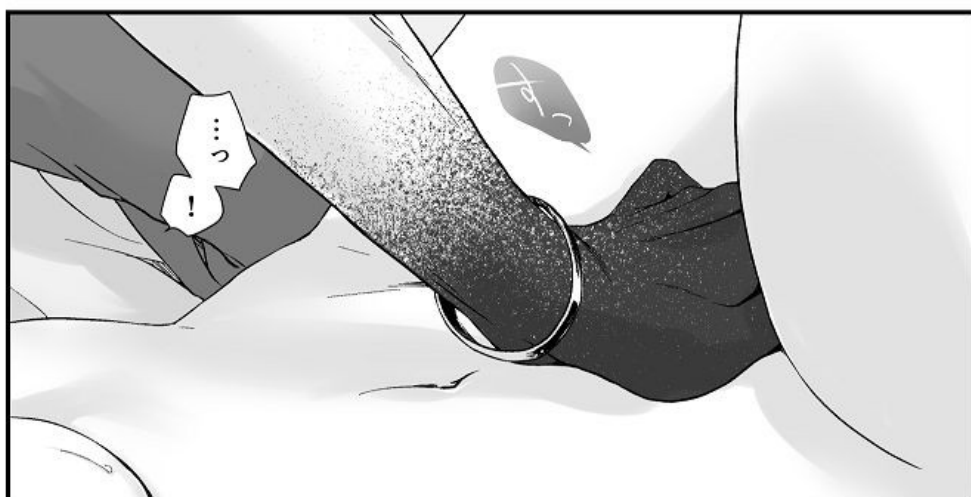












ん

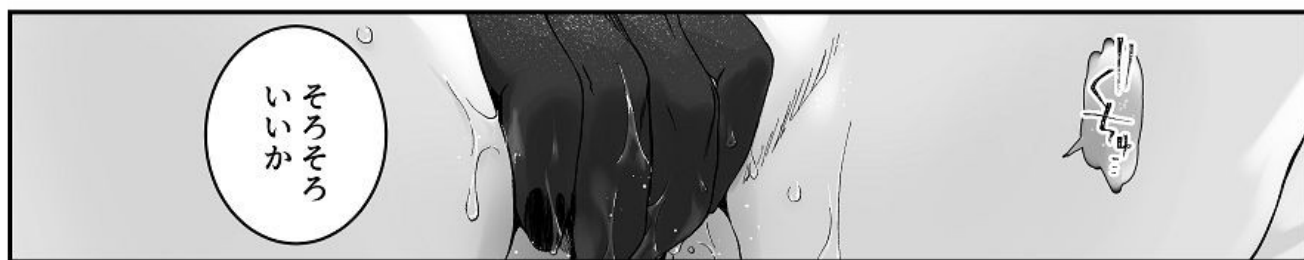
ん

ん

ん

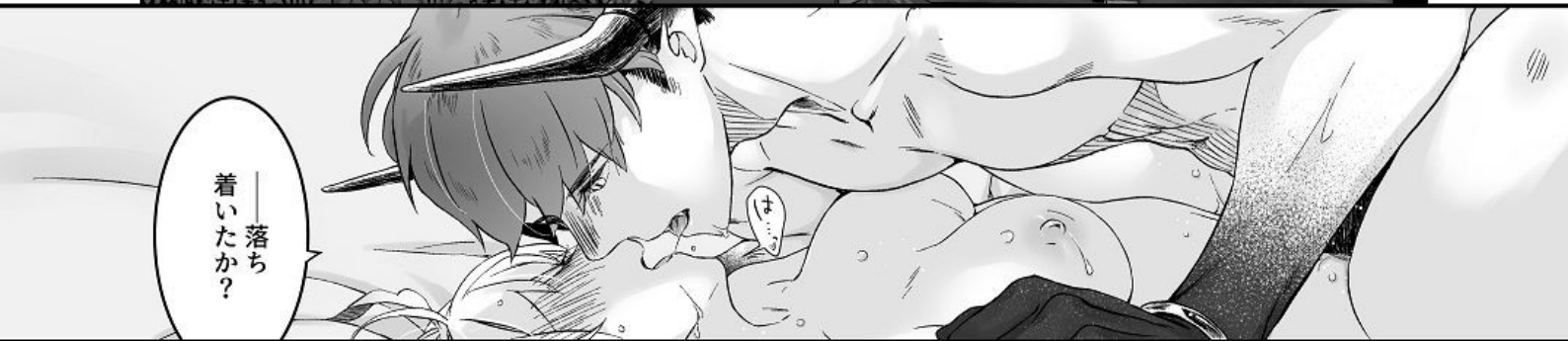
ん



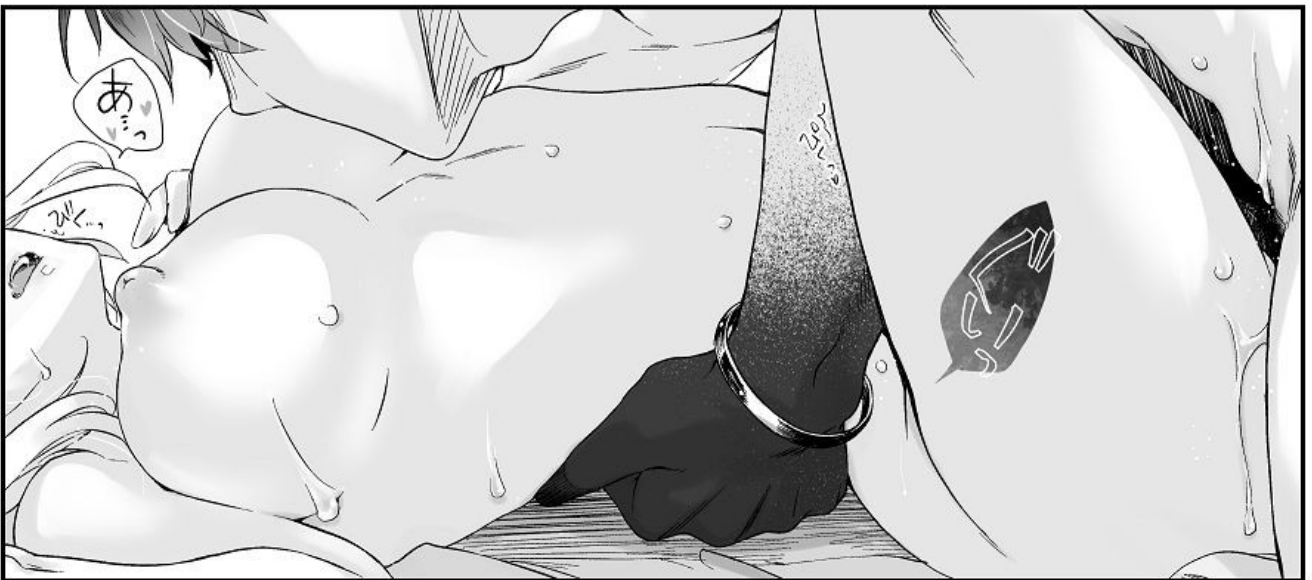
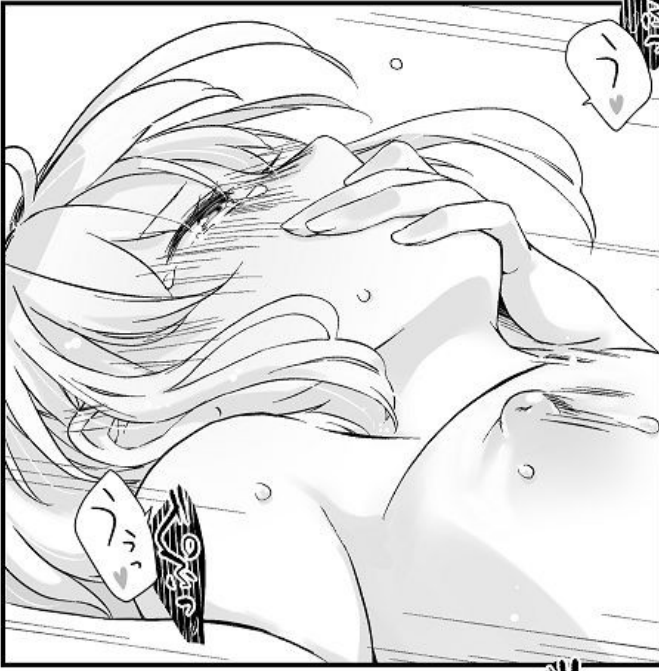
























ナコ
もうすぐ
いくぞ









…そうか
お前は全裸が
一番力が
強いということか

だが…
力を使う
必要はなかった
だろう？



…はい
…ほんとに
もっと強引に
されると思っ
てました

避妊のこと
だって…



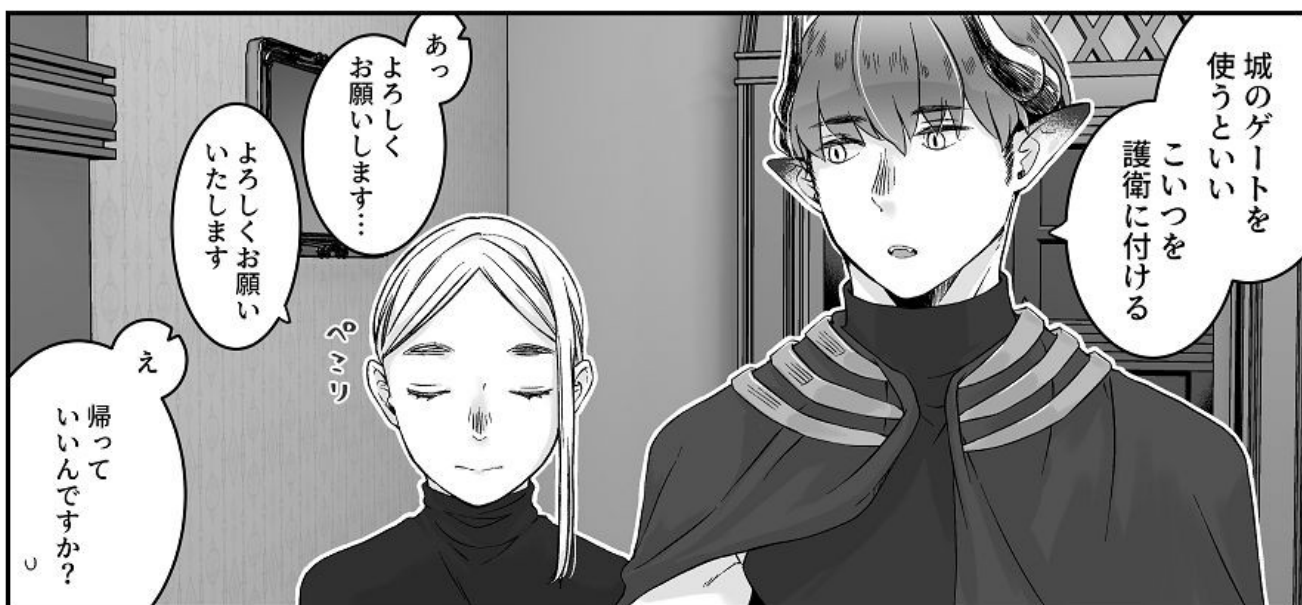
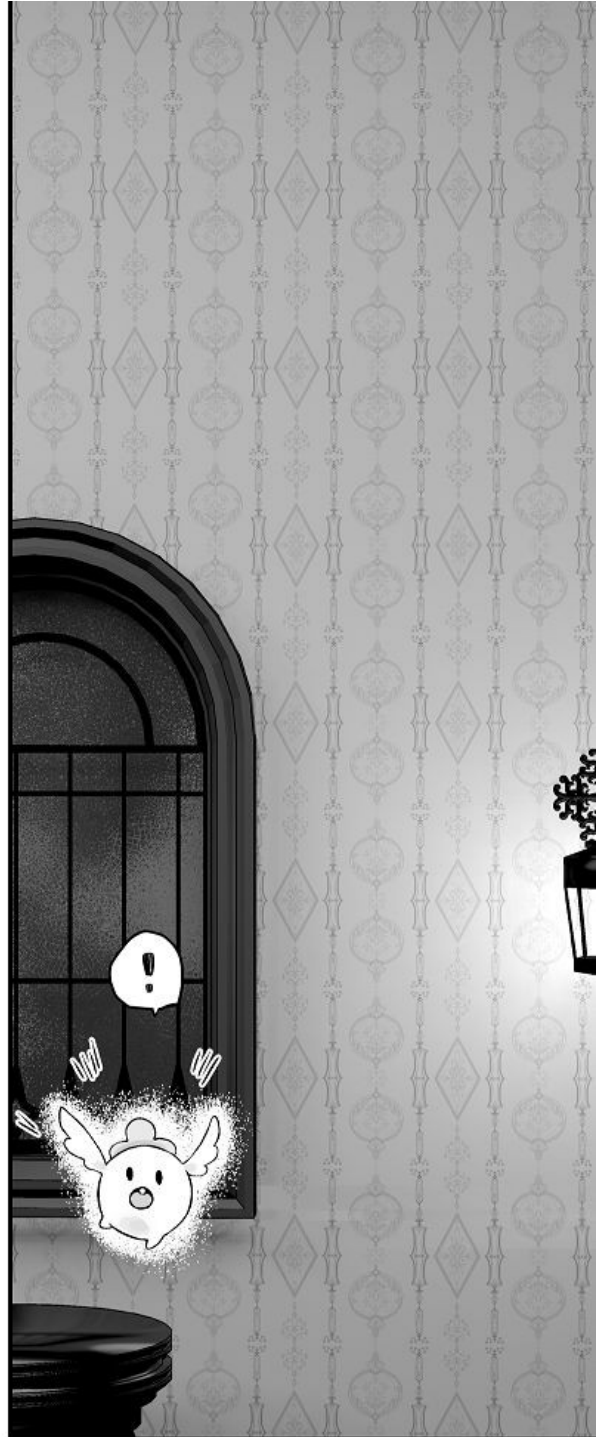
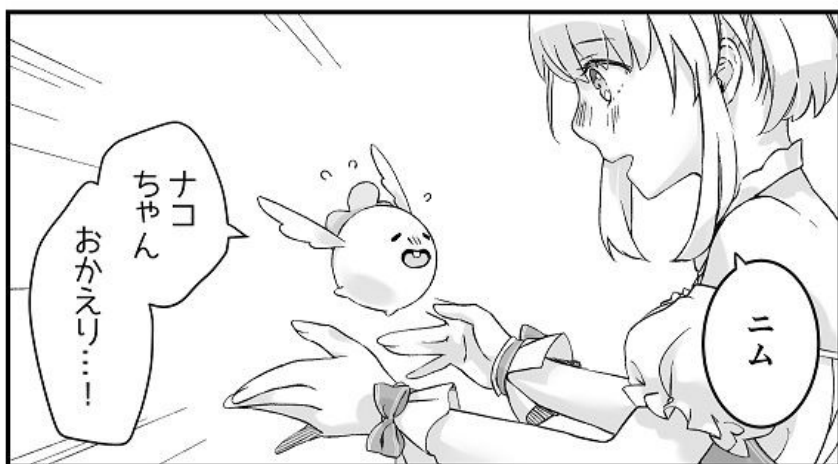
先刻^{さつき}ジジイが
言っていたろう
魔族は己の欲に
忠実だと

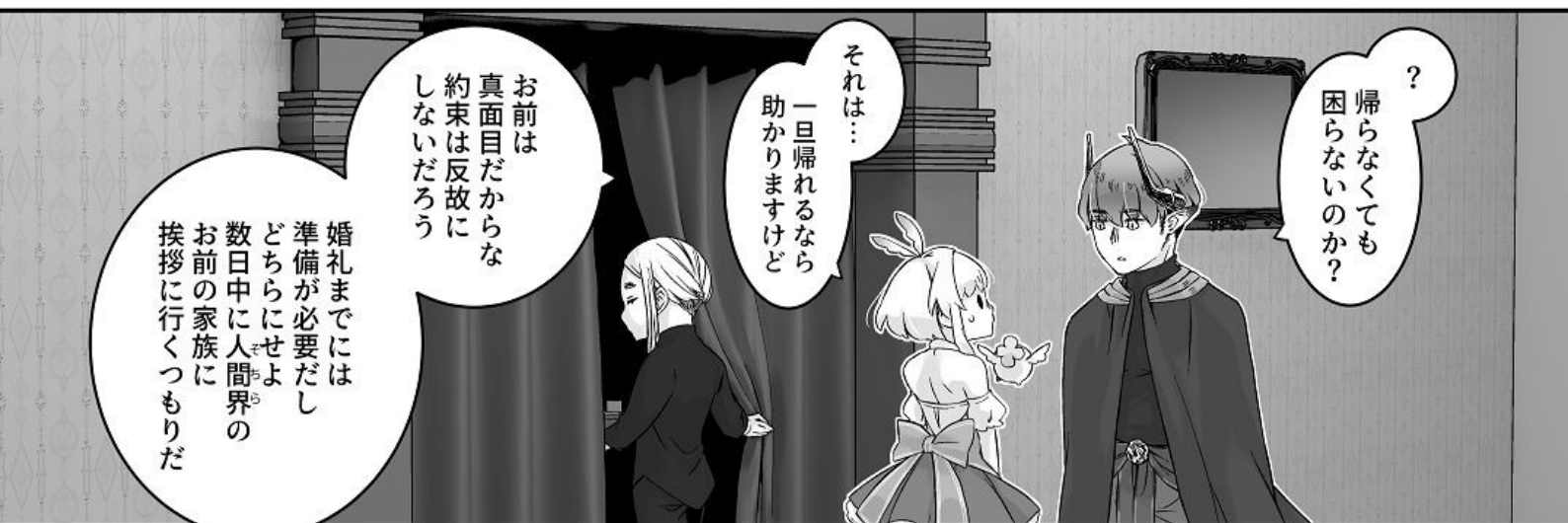
やっとお前を
嫁にできるのに
いま子を成したら
しばらく抱けな
くなるだろ

曇りのない目↓











親父以来
十数年ぶりの
国の婚礼だからな

俺も実際に
見たことはないが…
盛大に挙げることに
なるそうだな



…えっ

私

めかけ
お婆さんに
なるんじや
ないんですか？

おい



儀式について
覚えてもらう
必要もあるし

正直早く
こちらに移って
もらえる助かる

そ
そんな
仰々しいんですか…？



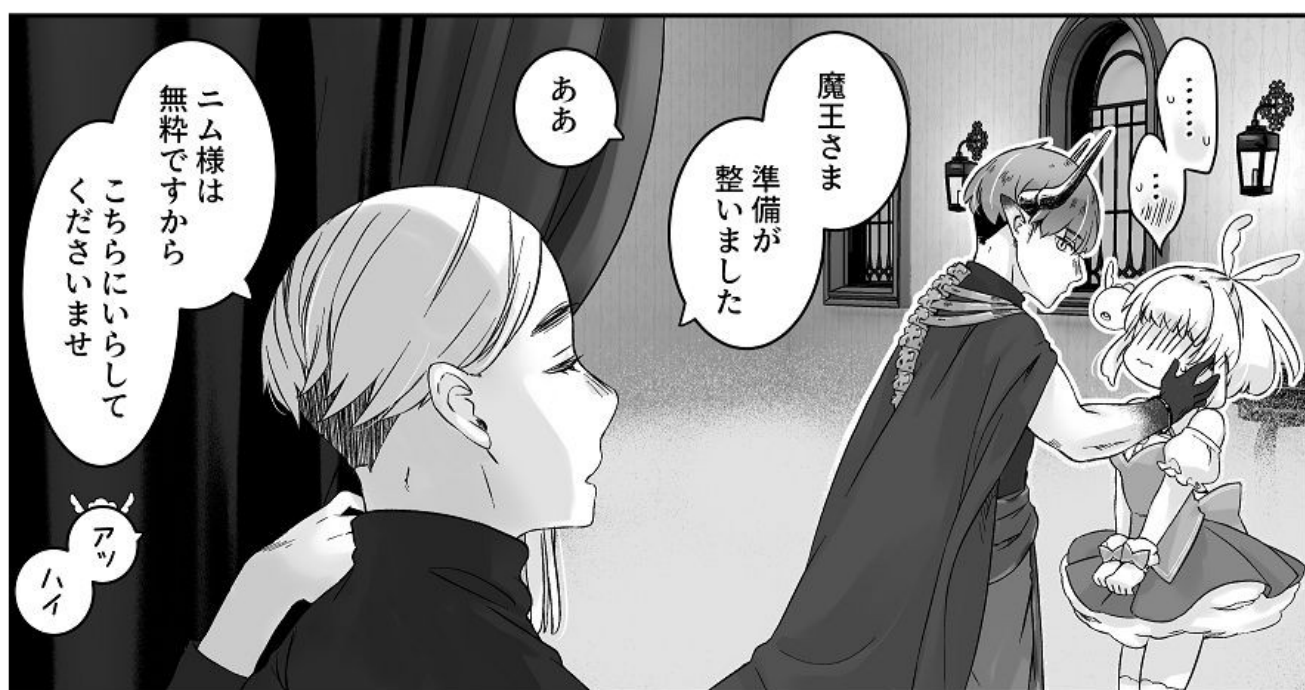
…俺は
独り身だぞ

ず——つと
「お前を嫁にしたい」と
言っていたのに



そ
そうでした
けど！

何で
私に









なら
いつか
言ってくれ



まだか

...それは
まだです



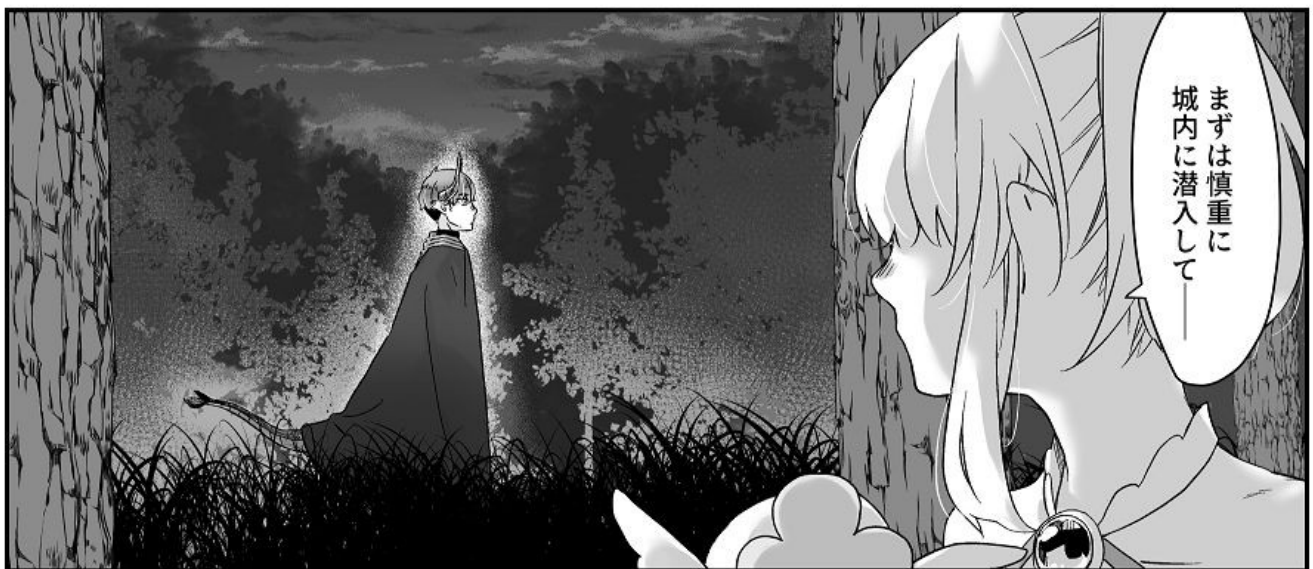
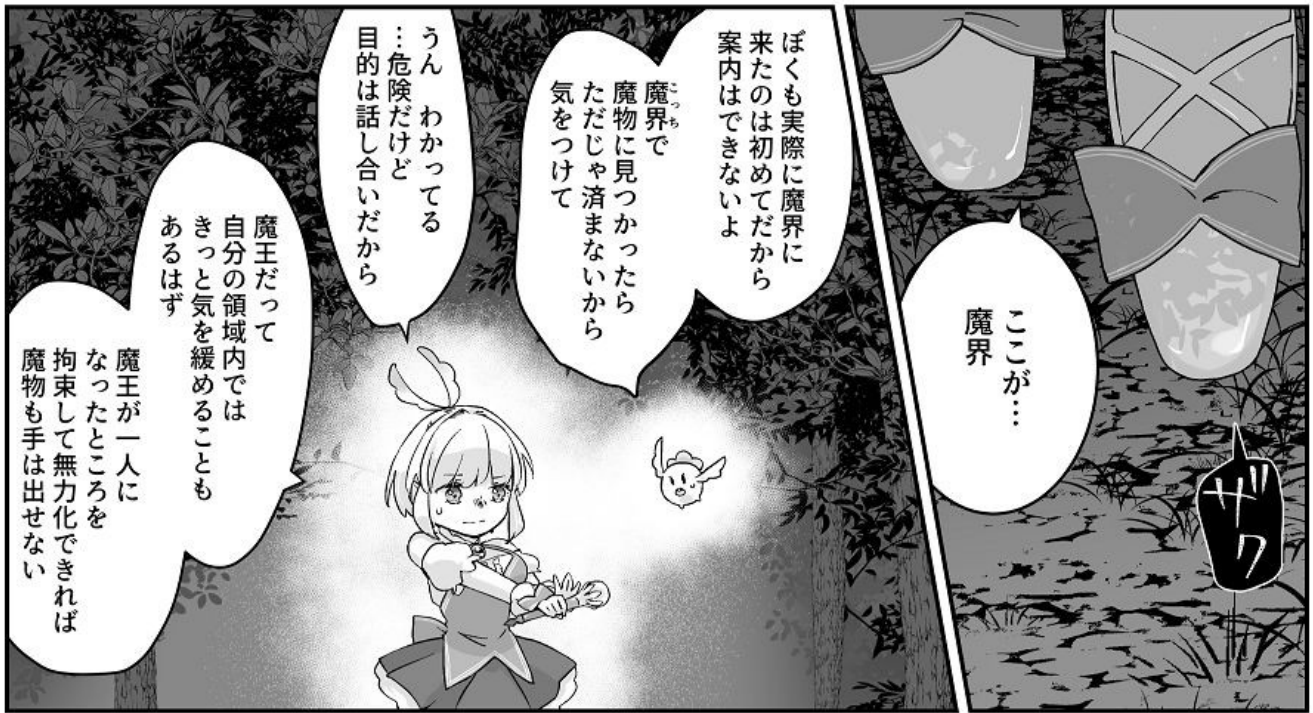
なるべく
早くがいい

気まぐれ魔王さま、生真面目魔法少女を嫁にする。

蛇足的なあとがき と おまけ



魔法少女、魔界到着。(本編はじまる直前の出来事)



玉座から抜け出してふらっとお散歩中の魔王さま

魔王さまと魔法少女の名前小ネタ。(P18より)



はじめて名前を呼んだ時の反応(※P31)の味を占めた魔王さまのその後



魔法少女、実は大学生。



日本の女の子の場合は魔法少女のフォーマットが多いけど、他の国の女の子だったらこんな感じになったりするよ！





魔法少女、魔王さまのとある疑惑を尋ねる。



魔王さまは王族なので
世継ぎをきちんと増やすという目的で
少年期からしっかりと性教育を受けています

→2コマ目は
「実践はじめてだった」という意味で
ヒト以外の生物とした事がある
ということではないです
(性具等による擬似体験はある)



魔王さまと魔法少女、新婚さんのお仕事風景。





でてきたひとたち

魔王さま/雷竜の魔王-ヴィヴェルグィム

ナコに惚れたきっかけは、お胸なのかと思いきや、
「人間界を襲撃した魔族を打ち負かすほどの強さを持ちながら、
だれも殺したりせず、むしろ改心させようと
“こんなことして何になるんですか!”と説教をしていた」から。

真面目で物怖じしないところがいいらしい。

魔法少女/マジカリィコーラル-ナコ

ヴィヴさんのことは、敵ではあるものの
実はもともとそんなに印象は悪くない。
(むしろ雰囲気や顔は好きなほう)
ただ、堂々たるセクハラだけはやめてほしい。

この世界線のざっくり設定



何かに似ている
気がするの
は
きつと気のせい。



代々王家に仕えている
有能なおじいさん。
性格に難あり。

人間が住む人間界と、魔族・魔物が住む魔界がある。
(その他にもいくつかの世界が存在するが、本作では登場せず)

世界同士のバランスを保つため
「大いなる意志」的なものが存在し、
ニムはそこから派遣されている使い魔のような生命体である。
特別な力を持たない人間界を守るのが主な役割。

作中の「ナコの父が魔界から人間界に帰化している」というのは、
「世界間を繋ぐゲート」を通して
別の世界に迷い込んだ者がそのまま住みつく事がある。
「大いなる意志」によって問題ないと判定されれば、
そのまま帰化できる。
戸籍とかは多分不思議な力でなんとかなっている。

(余談ですが)
若きナコ祖父が幼いナコ父を連れて人間界に帰化したので、
ナコ父はほぼほぼ人間界の日本育ち。

ライロさんたち

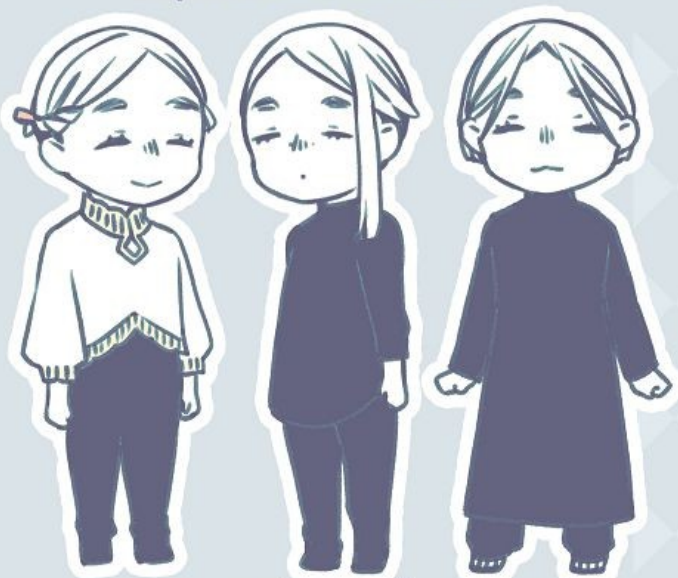
竜人さんたち

いろんないろんな
タイプがいる



↑ 兵士

↑ 市民



いろいろ

【ライロ】という種族。それぞれ個人名がある。
はっきりとした性別がなく、単独で無性生殖する。
ぱっと見は同じ顔だが、慣れると見分けられるらしい。

魔王さまと魔法少女の初対面。



描いた人のごあいさつ

はじめて。
または、いつもありがとうございます。
青色観測所/中原水芋です。

「意図せずラッキースケベを振り撒く魔法少女」
というえっちなうかがきを気楽に描いたら、
何故か一本の漫画が出来あがりました。

めちゃめちゃ好き放題に楽しく描きました。
皆様にも楽しんでいただけていたら嬉しいです。



SPECIAL THANKS

ご支援・応援してくださった皆様
楽しみにお待ちいただいた皆様

読んでくださったあなた

き まおう き ま じ め まほうしょうじょ よめ
気まぐれ魔王さま、生真面目魔法少女を嫁にする。

#きまめ

サークル / 青色観測所
発行人 / 中原水芋
発行日 / 2024年7月26日
連絡先 / three_taimicroquettes@outlook.jp
X.Bluesky / @imomizuimo

本作の内容は全て、無断転載・複製・複写・
インターネット(WEB・ブログ・SNS等)上への掲載を禁止します。

Unauthorized reproduction, duplication, alteration,
and posting on the Internet (web, blog, SNS, etc.) of all the contents
of this work are prohibited.

本作品はフィクションです。
登場する人物や地名などは、実在するものと一切関係ありません。



きまぐれまおうさま、きまじめまほうしょうじょをよめにする。